

## 文化芸術振興

アナ： 『市長が語る 2021 三島』 第 22 回の今日は、「文化芸術振興」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願ひします。

市長： よろしくお願ひします。

アナ： はじめに、昨年、市民文化会館がリニューアルオープンしましたが、そのことについて教えていただけますか。

市長： はい。

市民文化会館は、令和元年10月からの1年にわたる改修工事を終え、昨年10月にリニューアルオープンいたしました。

改修内容は、ホールの舞台音響設備や照明設備等をデジタル化したほか、大ホールの女性用トイレ出入口の段差を解消し、洋式便座を増やすことで、より利用しやすいトイレに改修することなどを行いました。

さらに、新型コロナウイルス感染症対策として、市民の皆様安心して利用していただけるよう、空調設備の換気機能を強化しております。

リニューアルした市民文化会館で、安心して、心ゆくまで文化芸術を楽しんでいただきたいと思います。

アナ： 新型コロナウイルス感染症対策もされたんですね。

レベルアップした音響や照明が楽しみですし、コロナ対策もされているので安心ですね。

次に、文化芸術振興のソフト面での取組みにはどのようなものがあるのでしょうか。

市長： はい。

昨年度、三島市文化振興基本計画の中間見直しを行いまして、見直し後の後期計画に基づき、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、各種文化事業を展開しております。

具体的に申し上げますと、市内在住の絵本作家である宮西達也先生に、市内の全ての小学校において、絵本の読み聞かせのワークショップを実施していただいているほか、幼稚園・保育園に、通称スパック（SPAC）という「静岡県舞台芸術センター」の俳優が出向く、「スパックおはなし劇場」などを実施しており、子どもたちに質の高い文化・芸術を体験する機会を提供しております。

アナ： 子どもたちにとってわくわくするような楽しい体験となりますね。

市長： はい。

その他、「芸術祭」、「演劇祭」、「文芸三島の発行」等を引き続き実施する予定であります。

そして、今年には三島市制 80 周年でありますので、12 月にベートーヴェンの交響曲第 9 番を市民の皆様との合唱とともにお届けする「第九演奏会」を開催します。

コロナ禍からの再生を願い、高らかに「歓喜の歌」を歌いあげたいと思います。今回は、市制 70 周年の時以来 10 年ぶりの「第九演奏会」です。

マスク着用での合唱など新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施します。

また、来年 1 月には、国内有名オーケストラのトッププレイヤーの演奏による「三島せせらぎ音楽祭」を開催する予定です。

アナ： 市政 80 周年を記念した 10 年ぶりの「第九演奏会」やトッププレイヤーによる「三島せせらぎ音楽祭」など、とても楽しい企画が続きますね。

ほかにも何か予定されているイベントなどがありましたら、ご紹介ください。

市長： はい。

佐野美術館は、今年で創立 55 周年になります。

そこで、小学校での絵本の読み聞かせでご協力いただいている宮西達也先生の展覧会、「宮西達也の世界 ミラクルワールド絵本展」を三島市との共催で実施して参ります。

また、市民登録参加型の文化フェスティバルである「みしまの文化百花繚乱」を、例年は 9 月から 11 月にかけて開催しておりましたが、今年は 12 月から 2 月に開催期間を変更して、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施いたします。

新型コロナウイルス感染症による影響で、やむを得ず、文化イベントが中止となる場合もありますが、「文化芸術を楽しみたい」という市民の皆様一人ひとりの思いが、三島の文化芸術を継続、さらには発展させていくための原動力になると考えています。

今後も引き続き、皆様の創作・発表・鑑賞活動等を支援して参りますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。